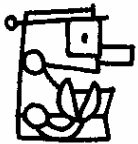


小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /  
人と動物の体 / 理解シート

## 血管のいちばん先のほうは、どうなっているの



血管の先のほうになるほど、あみの目のように広がった、目に見えないような細い毛細血管になっているのさ。

手首の近くを指の先でさぐると、ドキドキと脈はくが伝わってくる場所が見つかります。これは、心臓が定期的にギュッ、ギュッとちぢんで、ポンプの役目をして、血液を全身に送り出している「はく動」が血管を伝わってきたものです。

血管は、体のあらゆる部分に広がっています。そして、先のほうに行くほど、あみの目のように広がった細かい毛細血管に分かれていきます。この毛細血管の太さは、約0.0008mmという細さで、目では見えません。血管がないように見える体のどの部分を切っても（かみの毛やつめ以外）、必ず血が出てくるのは、毛細血管がきているからなのです。

心臓 動脈 毛細血管 静脈 心臓 肺 心臓でひとめぐりする

毛細血管を流れる血は、体の各部分に呼吸でとり入れた酸素や、腸で吸収した養分を配ります。そして、各部分でできる二酸化炭素などのいらぬものを受け取って、心臓にもどってきます。心臓は、この血液を肺に送って、二酸化炭素と酸素を交わした血液がもどってくると、これを、また全身に送り出します。このようにして、血液は体内をぐるぐるまわっています。

心臓から血液を全身に送り出す血管は動脈、全身から心臓にもどってくる血液が流れている血管は、静脈といえます。心臓を出た、酸素をたくさんふくんだ動脈の毛細血管が、体の各部分で二酸化炭素を受け取った静脈の毛細血管とつながり、血液は体内をひとめぐりして心臓にもどってくるのです。皮ふの表面近くに見えるのは静脈、見えにくいけど脈はくを感じることができるのが、動脈です。



指を切ったとき、血管がないのに血が出た  
と思ったけど、毛細血管があったんだ。

もっと知りたい人へ：「血液が体内をひとめぐりすると、何回心臓を通るの」も見てみよう。